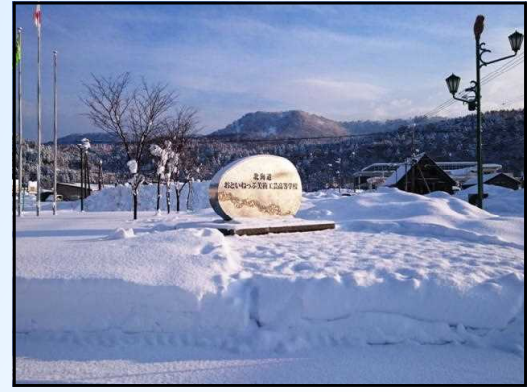


# 『冬、やさしさを大切にしてほしい』

北海道おといねっふ美術工芸高等学校長 伊藤 良平

北海道の冬は私たちに厳寒の中の雪や風とともに、人の何気ない心のぬくもりを運んできます。お互いを理解し、助け合い、磨き、高め合う気持ちが大切ではないでしょうか。

音威子府村は、自然豊かな美しい村です。しかし、この冬は日本でも音威子府村の雪の深さや寒さの影響が、雪の降り方や寒さの厳しさに影響を及ぼしています。雪の降り方や寒さの厳しさに影響を及ぼしています。



音威富士（11月29日撮影）

子どもたちが、雪合戦や雪像づくりなど、雪の遊びを楽しんでいます。雪の遊びを楽しんでいます。

確かに世界の様々な地域の美しい風景は見る人に感動を与えます。日本にも富士山等の多くの美しい山があります。しかし人は自然の美しさだけでは生活していくことができません。

先日シリアの紛争が起きました。シリアは古代の遺跡が多くあり、美しい場所です。シリアは古代の遺跡が多くあり、美しい場所です。

本校の生徒は、全国各地から入学しています。道外の出身生徒は、南は九州から東北まで18名います。それぞれ個性を伸ばし、勉強したり働いたりしています。

2016年がすぎたこと、2017年がやってきました。2016年がすぎたこと、2017年がやってきました。

村の天塩川も音威富士も自然の厳しさとともに私たちにいつも温かく見守ってくれています。美術工芸の授業は、冬の厳しさをしっかりと受け止めながら「やさしさ」をいつまでも持つていきます。



# 学校だより

## No.4

平成28年12月21日発行



## 教務部より

教務部長 吉田 香織

早いもので今年もあと2週間ほどとなりました。今年の冬も音威子府村は真っ白な雪にすっぽりと埋まり新年を迎えようとしています。

こちらは毎年、ではなく毎日の話なのですが、感動してしまう瞬間があります。重い教材を持って廊下を歩いている時、必ず誰かが声をかけてくれます。

3年生は卒業制作発表会に向け、必死に頑張っているところです。3年間の学びの集大成である卒業制作に、最後まで全力で制作に取り組んでくれることを願っています。

2年生は進路に関する相談や活動も活発になってきています。自分の希望や考えに向き合い、保護者の方をはじめ、様々な角度から将来を見つめてほしいと思います。

1年生はコース選択最終決定についての連絡を同封しております。進級後、2年次から選択コースでの授業が開始されます。

各学年とも冬休み明けが一番忙しく、短く感じることでしょう。どの学年にも言えますが、高校生活は（おそらく）一度きりです。それぞれの学年で経験できることは、その学年でしか経験できないことであり、貴重な体験ばかりです。

〒098-2501  
北海道中川郡音威子府村字音威子府 181 番地の 1

HP:  
<http://otoineppu-ac-h.server-shared.com/>

Email:  
[otokoh@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:otokoh@seagreen.ocn.ne.jp)

## 行事予定

- 1 月**
- 11日(水) 帰寮日
  - 12日(木) 全校集会
  - 13日(金) 漢字検定
  - 14日(土)～15日(日) 大学入試センター試験
  - 19日(木) 卒業制作発表
  - 20日(金) 英語検定
  - 23日(月) 全国大会社行会
  - 30日(月)～31日(火) 学年末考査(3年)
  - 31日(火) 三送会

- 2 月**
- 1日(水) 3年生帰省日
  - 1日(水)～27日(月) 3年生家庭学習期間
  - 13日(月) 入学者選抜(推薦)
  - 16日(木)～20日(月) 学年末考査
  - 27日(月) 3年生帰寮日
  - 28日(火) 卒業式予行、PTA体文役員会

- 3 月**
- 1日(水) 第31回卒業証書授与式
  - 7日(火) 入学者選抜(一般・学力)
  - 8日(水) 入学者選抜(一般・面接)
  - 11日(土) 駿台全国マーク模試(1・2年)
  - 17日(金) 合格発表
  - 24日(金) 修了式
  - 25日(土) 帰省日



## 生徒指導部より

生徒指導部長 棚橋 栄 治

今年例年になく雪が早く、そして多い冬を迎えました。12月を待たずして積雪量が1mを上回り、村内の道路や住宅周りの除雪は大変なことになっていました。

人は誰も苦難を避けたい、苦勞するよりは楽をしたいと思う生き物です。寒いよりは暖かい方が、暑いよりは涼しい方が、面倒くさいよりは面倒くさくない方がと、様々な状況において「苦」よりは「楽」を求めやすくなっているのではないのでしょうか。

大切なことは「楽」を求めることにのめり込み、自分を高めることから遠ざかったり、周囲の人への心配りができない人間になっていったりしてはいけないということだと思います。楽をしようとする前に、「敢えてやる」ことの大切さについて、考えることが大切ではないのでしょうか。

そんな大切さについて考え、敢えて実践する。

そんな冬休みにしてもらいたいと思います。

## 進路指導部より

### 『つらかったあの頃』

進路指導部長 碓 矢 真 由

高校入試。それなりに続けていた塾の対策のおかげで、何とかそれなりの高校に上位の成績で入学。『意外にイケんじゃん』それを真に受け調子に乗っていました。それが、2年生の模試でほぼ最下位になり、「お前が中だるみの典型だ」とまで言われました。けれど「部活で勉強ができなかった」「アルバイトにも時間を取られた」という明確な理由のおかげで、大丈夫だと確信していました。

3年の夏。勉強をやろうと思いました。けれど、「わからないし難しい、時間がかかる」という理由があったので、はかどらなくても仕方がないと思っていました。しかし一所懸命な友人を見ると自分がダサく思えたので、心の中で『ごめん』と思いながら自分も頑張っているふりをしていました。

センター試験。ぼんやり受けて見事に撃沈。その時は落ちて悔しい涙すら出ませんでした。ただただこの「ぼんやり」した日々から抜け出したかったので、むしろ安堵していたくらいでした。

大学の初講義。「私立大学の費用は1回の授業が約1600円。それを4年間。べらぼうに高いぞ。これに見合う学びを得る事が出来るか。ただ何となく大学に来るだけなら、4年後何にもなれずに社会に出る事になるぞ。」という話を聞いてなぜか大泣き。「マズイ。このままじゃ。いや、高校時代だってそんな事分かっていたはずだ。けれど」それ以降大学では、この『けれど』を封印しました。

様々な事を肯定する理由や否定する理由は無限にあります。自分に嘘をついてません。他人にも嘘をついてません。ただ、つらいだけです。でも『わかっているなら、やれ』これだけです。



10月5日～7日、北見市で行われた高文連全道大会に参加しました。



10月8日～9日、札幌市で行われた学生美術全道展に参加しました。



11月16日に、国際帰国報告会を実施し、3名の生徒の映像を交えて自身の現地での食文化や環境の違いなどを発表しました。



11月15日、赤ちゃんとのふれあい体験学習



11月26日、パネルソーを機械加工実習室に設置



12月6日、インターンシップを実施



スウェーデン生徒を受け入れ、交流を実施

### お知らせ

#### ○ 訃 報

P T A 会長をしていただいております志村正美様が、12月3日ご逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

#### ○ 退 職

北海道おといねっぶ美術工芸高等学校チセネシリ寮の寮監補をしていた今井良一様が11月末日をもちまして退職されました。

夜と朝の巡回などで生徒の様子を見て頂きありがとうございました。

### 【編集後記】

今年例年になく雪の降るのが早く、雪が降ると同時に体調を崩す生徒が多く見受けられ心配しましたが、身体が気候になれ体調を崩す生徒が少なくなり一安心しました。

1月19日に、本校の工芸教育の集大成である卒業制作発表があり、3年生は作品の制作に力を入れています。今年度は、どのような作品が出来上がるか楽しみです。